

来場者に喜ばれる吉野公園の再考を！



答弁

民間のノウハウを活用する方法を模索している

を有効活用できない状況が残念でならない。来年度の釣り大会開催について、どの様に考えているか。

商工観光課長

来年度の釣り大会に関しては現時点で想定はしていない。釣り大会は、日頃の感謝の気持ちを示し、釣れる吉野公園の宣伝を目的としている。今後は、半額サービスデーを設けたり、釣り大会ではなく、違う形で愛好家の皆様への還元を検討している。

議員

非常に残念である。釣り愛好家にとつては、釣り大会を目標として利用している方も多いため、再検討をお願いしたい。施設整備についても、有料で運営を行っているため、利用者に還元するのは当然のことと考える。今後さらに再考していただくよう強く要望する。



答弁

IC周辺事業で安定的な財源を確保する

リスクもないのだから応募が多いのは当たり前ではないのか。

副市長

道の駅は、隣接に民間の集客施設と観光農園をつくり連携し、賑わいを創出できる。この賑わいを商店等に波及させるとともに、農家所得の向上にも貢献したい。管理運営者の選定作業も遺漏がないよう努める。

議員

災害の多い今日、そのお金を大災害に備えて貯金をする必要はある。これ以上公共施設を増やしてどうするのか。右下総合体育館のメンテナンスも1億8千万円かかる。道の駅については、多数の議員が疑問を持ち、再度全員協議会で洗い直すことが決まった。地産地消を目的とした地場産物を売る販売所をつくるという話が議員の分からないうちに1人歩きしていった。市民も税収の上がらない時代にこのようなお金のかかることをすべきではないと、一票を投じた議員に言っているのではないのか。

道の駅設置よりも市民の税負担軽減を

議員
吉野公園は今年で開園50周年を迎え、施設の老朽化が目につくようになった。環境整備について、今後どのような整備計画があるのか伺う。

産業振興部長

長期的に計画しているわけではなく、現在、新たな建物や道路舗装等の計画はない。毎年度必要な改修・修繕を進めていく予定である。

議員

吉野公園では毎年春と秋、年2回釣り大会を開催していたが、今年の秋の大会は中止となった。その理由を伺う。

産業振興部長

主催していた釣り団体構成員の高齢化に伴い、体力的にも開催が厳しくなった。他団体等での開催も検討したが、困難であると判断し、今年度の秋季釣り大会については中止となった。

議員

ポテンシャルが高い吉野公園

大澤 清 議員

議員

国民健康保険税や介護保険料の値上げが見込まれる中、何故30億円を投じて道の駅を建設するのか。誰もが納得しない。その建設費を予算に繰り入れるべきである。そうすれば値上げをせずに済むはずである。

副市長

社会保障等を賄うためにも、アグリサイエンスバレー事業による自主財源の確保、雇用促進、定住人口の拡大を進めたい。

議員

道の駅の自主財源をどのように確保するのか。また、雇用はどのくらいを想定しているか。

副市長

都市エリアに立地する企業の固定資産税として、年間約2億円が見込まれ、雇用は千人を目標とする。

議員

道の駅としての固定資産税は0では。指定管理者への応募が4、5社あったというが、何の

茂田 信三 議員